2 道路舗装・側溝等の整備について

町民の皆さんが安心して快適に暮らせるよう、各行政区からの要望を随時改善中です

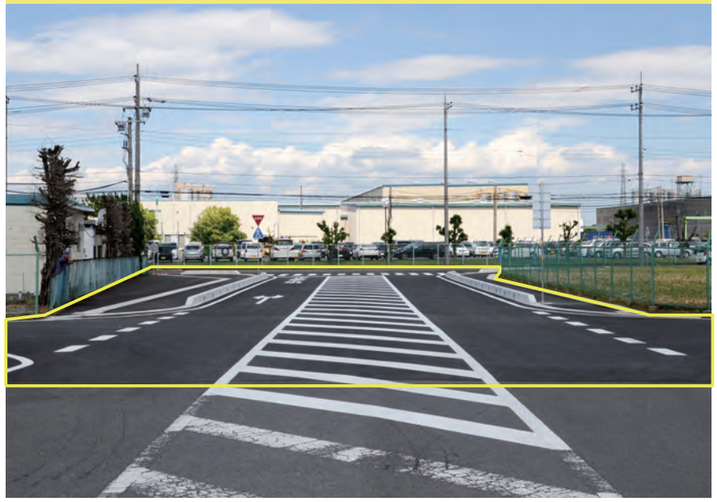
行政区長さんを通してぜひご相談ください

CAUTION

①生活圏道路整備工事では、用地を買収し拡幅工事を施工します。
②道路舗装整備工事では、損傷の大きな舗装道路を掘削し、新しく舗装を施工します。
③側溝整備工事では、蓋の設置ができない側溝を危険防止のために蓋のついた側溝へ布設替えをします。

陽光台：①生活圏道路整備工事

道路を開通し、大通りへのアクセスを快適に



井草：①生活圏道路整備工事

幅が狭く通行に不便だった道路を拡幅

下小橋：③側溝整備工事

老朽化した側溝を整備し、危険だった段差も解消

山崎北：②道路維持補修工事

路肩が崩れ危険だった道路に土留め舗装整備

若林新田：②道路舗装整備工事

経年劣化し、傷んでいた道路の舗装整備

染谷：②道路舗装整備工事

経年劣化し、傷んでいた道路の舗装整備

行政懇談会に参加した職員の感想レポート

税務課
主幹　本山英憲

即座に回答する町長の姿勢を目標に

橋本町長は行政懇談会で行われた質疑、要望に対し、即回答や何らかの代替案を提示していました。それは日頃から知識を蓄え、地域の問題を想定しているという準備ができている表れであり、職員として同じような行動がとれるよう見解を広げる努力をしなければと感じました。

境小付近

歩道のない道路の交通安全対策！
グリーンベルトを設置しました

通学路の白線が消えかかっているという住民からの要望を受け、町が県に要望を行い、協議の結果、交通事故防止対策として、白線の引き直しとグリーンベルトが新たに設置されました。

3 防災対策について

町では平成 27 年 9 月の関東・東北豪雨災害を教訓に、様々な新規事業や防災訓練の実施を通して、防災安全の強化に取り組んでいます。

立教大学と防災情報システム導入の研究連携覚書を締結

▲覚書締結式（写真左が立教大学中村教授）

スマートフォン活用し必要な情報を必要な時期に正しく伝える

防災行政無線にかわる情報伝達手段として、インターネットラジオとスマートフォンなどを活用した新たなシステムを導入します。

全国初！ 国土交通省に認可 水害避難タワーの整備

▲完成イメージ　約 200 人が 1 度に避難可能

水害時の緊急避難所に活用

役場庁舎西側の駐車場に全国初となる水害避難タワーを整備し、水害時等に緊急避難所として活用するとともに、備蓄倉庫や自家発電設備も設置します。

全小学校へ 防災備蓄倉庫を設置

◀四隅を仕切ってプライバシーも確保

災害時にトイレとして使用可能

災害時に避難所となる町内 5 つの小学校に、トイレとしても使用できる防災備蓄倉庫を整備しました。

【その他にも様々な防災対策を行っています】

- 国への防災ステーションの設置要望
- 広域避難計画の策定
- 雨水排水計画の策定
- 境地区区長会主催による防災訓練
- 関東・東北豪雨災害の検証

4 防犯対策について

各行政区からの要望などにより、下記の通り防犯灯及び防犯カメラを新たに設置しております。

平成 29 年度

新たに防犯灯を増設

▲桐ヶ作地内

行政区	新設数
金岡	19
桐ヶ作	
坂花町	3
猿山	1
山崎	1
塚崎一	1
伏木中部	1
伏木南部	3
西泉田	2
長井戸	2
百戸	3
計	36

町内全灯 LED 化、平成 29 年度（4 月～6 月）36 灯を新設

広報さかい 3 月号で防犯灯の町内全灯 LED 化（交換 1,736 基＋新設 379 基）の報告をしましたが、その後も各行政区からの要望などにより、上記 11 行政区計 36 灯の防犯灯を新たに設置しました。更に、6 行政区より 18 基の新設要望を受け、新設工事発注済みとなっています。

平成 28 年度

新たに防犯カメラを増設

▲道の駅さかいトイレ

▲ふれあいの里トイレ

平成 28 年度防犯カメラ 4 基を新設

平成 28 年度は新たに 4 基の防犯カメラを設置し、町内の防犯カメラ数は全 39 基となっています。町の安全化対策のため、設置希望箇所がある場合は、区長さんを通して要望願います。